

1 競技規則

- ①日本トリアスロン連合競技規則に準じ一部ローカルルールを適用します。
異議申し立てについては選手が競技終了30分以内に書面にて申し出ること。
- ②競技者が健康上危険と判断される場合、審判は強制的に中止させる権限を持ちます。
マリンレスキュー、船舶乗船者、大会スタッフ審判と同等の権限を持ち、宣告を受けた選手はその指示に従わなければなりません。

2 制限時間・リタイア・スキップ

- ①各種目には制限時間を設けます。
- ②制限時間内でも以下の場合、リタイアを勧告します。
健康上問題があると、審判団・主催者が判断した場合/運営上、支障が出ると判断した場合/勧告を受けたら、競技は継続できません
- ③スイム競技はスタート前もしくは1周回の終了後にスキップできます。
(バイクスタート時間は審判員の指示に従ってください)
リレーの部でスイムの選手がリタイアもしくは制限時間に間に合わなかった場合もスキップ同様、バイクスタートは審判員の指示に従ってください。

3 トランジション

- ①トランジションエリアへは、選手以外は立ち入り禁止です。また、ゴール後の選手でも、バイク競技終了まで立ち入りを禁止します。
- ②トランジションエリアは、競技コースの一部で、エリア内は乗車禁止です。
- ③ヘルメットのストラップは、ラックからバイクを外す前にしっかり締めてください。
フィニッシュ後は、バイクをかけてからストラップを外してください。
- ④ウェアは必ず着用してください。競技中はもちろんのこと、競技前後や会場内外での上半身裸はご遠慮ください。
- ⑤バイクの乗車・降車ラインを守ってください。

【バイクの乗降車方法】

乗車の場合:選手の足が乗車ラインを越えて、完全に片足の裏全体が地面に着いていること
降車の場合:選手の足が降車ラインの手前で、完全に片足の裏全体が地面に着いていること

4 スイム

- ①ウエットスーツ及びラッシュガードの着用を推奨します(海洋危険生物対策のため)
- ②計測アンクルバンドの着用を確認してください。
- ③支給されたスイムキャップを必ず着用してください。
- ④スタート前にスタート前地点、折り返し地点、周回方法を必ず確認してください。
- ⑤ブイなどに捕まっても構いません。ただし、それを伝って進むことは禁止です。
- ⑥スイム競技を中断する場合は、陸に向かって手を振って、係員に「リタイア」の意思を表示ください。

5 バイク

- ①レース中、ウォーミングアップ、バイクに乗車する際には必ず競技用ヘルメットを着用し、ストラップを締めてください。
- ②ひび割れ、表面の不良及びストラップの不良などのあるヘルメットの使用は禁止です。
規定のヘルメットをかぶって全体的に偏りなく、少し圧拍感があるくらいのもので、ストラップは止めた状態で指が横に2本入るきつさ、頭を前後左右に強くふってずれない程度に調整してください。
- ③自転車はスポーツ車(ロードレーサー)で、ヘルメットを着用すること。なお、国体選考希望者のみクリップオンバー(DHバー)の装着及びTTバイクの使用を禁止します。
- ④ペットボトルをバイクに装着することはできません。必ずバイクボトルをご使用ください。
- ⑤ヘッドフォン類、通信機器、携帯音楽プレイヤーなどの携帯は失格とします。
- ⑥ウェアは必ず着用してください(前開きウェアでも着用可能ですがジッパーを下げないでください)
- ⑦コースは周回コースです。選手自身で周回数を確認してください。
- ⑧交通規則を守り、バイク走行中はキープレフト(道路の左端を走ること)を守ること。
※「追い越しは右から」を遵守してください。(対向車に注意)
- ⑨ドラフティング走行・集団走行・伴走は禁止です。違反の場合はペナルティを与えます。

※バイクコースは対面交通走行となります。キープレフトを遵守ください。

6 ラン

- ①音楽プレイヤーなど、ヘッドフォンを付けての競技は失格とします。
- ②ウェアは必ず着用してください(前開きウェアでも着用可能ですが、ジッパーは下げないでください。)
- ③コースは前半は右側走行、後半は左側走行となります。
- ④ペナルティボックスを設けます。違反があった場合は、ナンバーが表示されます。
各自で確認し、ペナルティボックスに入りタイムペナルティを受けてください。

7 リレー

- ①リレー競技では、アンクルバンドをバトンのように引継ぎます。
- ②引継ぎの場所はトランジション内にあるリレー待機所となります。
- ③次の走者はリレー待機所で待機し、前の走者からアンクルバンドを引継ぎます。
- ④次の走者がアンクルバンドの取り外しを手伝うことは出来ません。
- ⑤次の走者以外がトランジションに入ることを禁止します。前の走者は引き渡し終了後に、速やかに出てください。
- ⑥それぞれの種目での棄権者、あるいは未完走者が出た場合、次の走者は記録なし、表彰対象外での続行となります。スタートのタイミングについては審判員の指示に従ってください。

8 フィニッシュ

- ①フィニッシュ時にはレースナンバーを前面に整えてください。サングラスを外すことを推奨します。
- ②ご家族、ご友人など、選手以外の方とのゴールでは、他の選手の妨害にならないようご注意ください。

9 ペナルティ

- ①トランジション入口付近にペナルティボックスを設置します。
違反を行った選手のレースナンバーはペナルティボックス入口に掲示されます。
ラン競技中に選手自ら確認して入ってください。
- ②以下3つのいずれかに違反した場合は、1分間のペナルティを与えます。
 - ・受付やトランジションに遅れた場合
 - ・他の選手へ危険が及ぶと予測される行為や違反があった場合
 - ・ボトルやコップ、補給食などのゴミの投棄やレースナンバーの乱れがあった場合
- ③以下3つのいずれかに違反した場合はDSQ(失格)となります。
 - ・ペナルティを受けずにフィニッシュした場合
 - ・ショートカットを行った場合
 - ・大会スタッフや関係者などへ暴言、暴力をふるった場合

10 競技内容の変更・中止及び中断

- ①気象状況などにより、大会開催が危険と判断される場合は、主催者よりコース・距離などの変更または中止を発表します。※スイム競技中止により、デュアスロンへ変更する場合があります。
- ②競技内容の変更または中止の場合でも、参加費の返金はいたしません。

11 緊急時の対応

- ①緊急時、救急車などの緊急車両が入る際は、競技中でも一時的に競技を止めて、緊急車両を優先して運行します。選手が止まっている時間も競技時間に含まれます。
- ②大会開催中、変調をきたした選手を見かけた場合は、すぐに係員へお知らせください。

12 各種情報

大会開催判断など、詳細は下記をご確認ください。

【あやはしトライアスロンHP】 <https://ayahashi.okinawa-tu.jp>

【JTU 規則】

https://archive.jtu.or.jp/jtu/pdf/JTU_COMPETITIONRULES_20190122.pdf